

**多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画デザイン等支援業務に係る  
プロポーザルの実施結果について**

令和元年6月20日

山口市総合政策部企画経営課共創推進室

多世代交流・健康増進拠点施設を整備するにあたり、基本計画デザイン等支援業務に最も適した事業所等を選定するため、公募型プロポーザルを実施し、次のとおり受託候補者を特定した。

**1 業務名**

多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画デザイン等支援業務

**2 趣旨**

山口市湯田地域交流センター南側の遊休地を中心に整備を検討している多世代交流・健康増進拠点施設については、平成31年3月に多世代交流・健康増進拠点施設整備基本構想（以下「基本構想」という。）を策定し、「温泉資源を活用した豊かな暮らしと交流の拠点」となる施設を目指している。

この基本構想を踏まえて、市民の皆様との協働により多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画（以下「基本計画」という。）を策定するにあたり、施設の機能構成や施設規模、建物配置など、専門的な知見やアイデアを含めた具体的な内容とするため、基本計画の策定段階において、建築士が所属する事業所等に基本計画デザイン等支援業務を委託し、その委託事業者からの助言、提案を受けながら、本市が基本計画を策定する。

**3 受託候補者として特定した者**

- (1) 名 称 光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体
- (2) 住 所 東京都品川区西五反田5-2-4レキシントン・プラザ西五反田
- (3) 代表者 光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所株式会社  
代表取締役 光井純

**4 特定日**

令和元年6月20日

**5 受託候補者の選考**

**(1) 選考手順**

参加意向申出者が多数（24社）となったため、「多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画デザイン等支援業務に係るプロポーザル実施要領」に基づき、有識

者及び本市職員で構成する「多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画デザイン等支援業務に係るプロポーザル評価委員会」（以下「評価委員会」という。）において、第1次選考の評価基準に基づく提出書類の審査を先行実施した。そして、書類審査を通過した8社を対象に、第1次選考のヒアリング審査を実施し、各評価委員の判定に基づく採点の合計得点が上位の者から、各社の合計得点の開きを勘案し、第2次選考対象者として3社を選定した。

また、ヒアリング審査を通過した3社を対象に、第2次選考の現地審査を実施し、施設管理者及び発注者の意見も考慮の上、第2次選考の合計得点をもとに、評価委員の合議により、合計得点が第1位であり、かつ全ての評価委員が第1位の評価を行った「光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体」を最優秀者に、合計得点が第2位の「三分一博志建築設計事務所」を次点者に選定した。

さらに、評価委員会の評価結果について、庁内で組織する「多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画デザイン等支援業務に係るプロポーザル審査委員会」の審査を経て、評価が適正に行われたことを確認した上で、評価委員会が最優秀者として選定した「光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体」を受託候補者として特定した。

## （2）評価委員会委員

	所属・役職	氏名
委員長	山口大学大学院創成科学研究科教授	嶋 心治
委員	一般社団法人山口県建築士会専務理事	児玉 尚
委員	一般財団法人山口観光コンベンション協会理事長	大庭 達敏
委員	山口県立大学大学院健康福祉学研究科教授	田中 マキ子
委員	山口大学経済学部教授	陳 禮俊
委員	山口市総合政策部次長	山田 豊成
委員	山口市都市整備部建築課長	山本 聖史

## （3）選考経過

### ①参加申込

募集期間	平成31年4月8日～4月24日
参加申込者	24社

### ②書類審査

実施日	平成31年4月26日
審査対象者 (参加資格を有する者)	23社

③第1次選考（ヒアリング審査）

実施日	令和元年5月29日
審査対象者	8社

④第2次選考（現地審査）

実施日	令和元年6月15日～6月16日
審査対象者	3社

（4）書類審査結果

順位	受付No.	合計得点 (105点満点)	評価結果
1	4	101.5	選定
2	5	96.6	選定
2	8	96.6	選定
2	13	96.6	選定
5	1	88.9	選定
5	16	88.9	選定
7	10	67.9	選定
8	14	65.1	選定
9	21	58.1	
10	7	56.0	
11	18	54.6	
12	23	53.9	
13	15	53.2	
14	20	51.1	
15	6	50.4	
16	22	49.7	
17	3	49.0	
18	11	46.2	
19	17	45.5	
20	2	33.6	
20	9	33.6	
22	12	32.9	
23	24	29.4	
	19		資格なし

#### (5) ヒアリング審査結果

順位	受付No.	合計得点 (700点満点)	評価結果
1	4	582.5	選定
2	10	547.9	選定
3	8	513.6	選定
4	16	466.9	
5	13	459.6	
6	5	455.6	
7	1	447.9	
8	14	432.1	

#### (6) 現地審査結果

順位	受付No.	事務所名	合計得点 (600点満点)	評価結果
1	10	光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体	532	最優秀者
2	4	三分一博志建築設計事務所	492	次点者
3	8		490	

※評価委員1人欠席のため、600点満点となっている。

### 6 現地審査の講評

このたびのプロポーザルでは、全国から24社もの参加申込みがあり、書類審査を通過された8社を対象に、公開プレゼンテーションという形でヒアリング審査を実施した。その結果、合計得点の上位3社を選定し、この3社を対象とした現地審査を経て、全ての評価委員が第1位の評価を行った「光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体」を最優秀者に、合計得点が第2位の「三分一博志建築設計事務所」を次点者に選定した。

現地審査では、設計担当者の代表作品を評価するため、これから湯田温泉において整備する拠点施設を直接イメージできるものではないが、代表作品におけるデザインの独自性、街並みや周辺環境との調和性、機能性、性能の持続性について建築的な評価を行うとともに、施設管理者や発注者の意見、発注者や関係者との協働プロセス、そして設計手法の本拠点施設への適用可能性を含め、総合的な評価を行った。

その中で、最優秀者となった「光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体」は、その代表作品である湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」の設計において、公共建築をつくるプロセスを非常に大切にしながら、総合的に価値の高い建築に仕上がっていることが高く評価された。

具体的には、市街地に立地する温泉街に公共の温浴施設を整備するにあたり、様々な関係者から多様な意見が出された中で、地域の議論を一つの建築として着地させた

こと、それを狭小な空間において建物配置の工夫により実現させたことは評価に値する。

また、隣接する観光文化施設といった既存ストックとの関係性を考慮していること、地域の歴史や風土を踏まえ、伝統的な建築形式や素材を用いることにより街並みとの調和を図っていること、さらに、地元産材を使用することはもとより、地元の工務店や職人が施工、メンテナンスを行えるように配慮していることが評価された。

一方、次点者となった「三分一博志建築設計事務所」は、その代表作品である直島ホールについて、地域の気候風土に沿った建築であることや、工学的な考えに基づく独自性の高いデザインが評価された。

このような評価結果となったものの、現地審査の対象となった三作品は、いずれも建築としては最高峰のものであり、この優れた建築を現地で拝見する機会をいただき、評価委員一同大いに勉強させていただいたことに感謝する。

最後に、今回選ばれた「光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体」には、これまでの経験を生かし、発注者である山口市と共に、市民が誇りや愛着を感じる施設を企画・設計していただきたいと節に願う。